

原爆投下から78年

戦争と平和について考える

第二次世界大戦から78年、日本では310万人以上の人々の大事な命が失われました。実際に被爆された方の話を聞き、空襲や戦時中の暮らしから戦争の恐ろしさを知り、そして本当の平和とは何かをもう一度考えてみませんか。

講師 三浦 恒祺さん

東京都出身。鶴岡市在住。15歳の時に広島市で被爆。爆心地から4キロ先での被爆だった。90歳を超えてなお第一線で活躍中、画歴75年の洋画家。「原爆の形象」と題した抽象画や「庄内の憧憬」などを描いてきた。広島市の「おりづるタワー」スパイラルスロープの1層目をデザインした。現在、鶴岡市の致道博物館にて個展(9月18日まで)を開催中。

■日時

8月25日(金) 11:00~12:00

■場所

酒田市公益研修センター 中研修室1
(東北公益文科大学 酒田キャンパス内)

■参加費

無料

■お申込み・お問い合わせ

8月24日(木)までに、来室・電話・メールにて以下の4点をお知らせください。

(1)氏名・フリガナ (2)所属 (3)電話番号 (4)メールアドレス

※メールでお申込みされる方は、件名に「8/25戦争体験談申込み」と入力してください。

東北公益文科大学 地域共創センター

電話:0234-41-1115 メールアドレス:kyoso@koeki-u.ac.jp

